

ワークショップ7

「消化管炎症性疾患における個別化医療の課題と展望」

司会 中山 佳子（信州大学医学部保健学科）

穂苅 量太（防衛医科大学校）

消化管炎症性疾患の治療は、画一的なアプローチから、個々の病態に即した個別化医療へと劇的な進化を遂げようとしています。

本セッションでは、monogenic IBD 等の遺伝子解析やパネル検査がもたらす病態解明、そして至適な治療順序の確立に向けた展望を深く議論します。未来の標準治療を形作る、皆様の挑戦的な研究や臨床報告を心よりお待ちしております。ゲノムが拓く新時代の幕開けを、共に議論する場としたいと存じます。